

近くなつた庄内

田中 浩
東京鶴翔同窓会会长

子供の頃、清水トンネルが開通して 東京は近くなつた、しかも新潟の方を

る。これら交通の高速化は大都市との時間的距離を縮めたほか、山形県にもたらす経済的ないし文化的効果は極めて大きいものと期待されている。

庄内地方でもこれらを背景に、産業構造の変革がすすみ、特に農業の質的变化や、観光開発、企業立地等の課題がクローズアップされている。更に環境日本海新时代の経済圏としての発展にも期待がもたれ、日本海をとりまく国との交易外交も、行政や経済界が一體となつて動き始めたようだ。

このような社会的变化の中で、庄内の高校教育や高校生の意識はどう变化しているのだろうか。例えば、工業、農業、水産等の職業高校では、時代の要請に応えるために学科の改編が行なわれている。コンピュータをはじめとする情報化の急速な発達に対応するため、工業高校に情報技術科、農業高校に生産情報科を設置したり、生産とともに流通も学せようと農業高校に生産流通科、水産高校に食品流通科を、また、先端技術を学習させるために工業高校に素材化学科を設置したりとい

うのがその例である。

一方、高校生の意識の变化を大学進学に例をとつてみると、庄内地区的高校生は首都圏への進学が増加の傾向にあり、例えば東北地区へは山形東高が66・3%なのに対し、鶴南高は38・8%であり、首都圏へは山形東高が18・7%に対し、鶴南高は28・8%となっている(90年度)。これは、鶴岡に自宅通学ができる大学が少ない(山大農学部のみ)ということもあるが、交通至便な首都圏への進学が何かと都合が良いという考え方のようだ。

このように大都市と接近した庄内の高校にも、その他いろいろな形での影響が出ているが、要は、社会の変化に対応し、次の時代をになう人材をどう育成するかである。鶴岡南高校の卒業生の97%は大学に進学し故郷を離れる。やがて世界に雄飛し、日本の各界のリーダーになつてもらいたいと願いつつも、その10%ないし20%は故郷庄内に帰り、新しい庄内のリーダーとなつて活躍してもらいたいものだ、と思うこの頃である。

廻つて行くんだと聞かされたように思います。それ迄は東京は酒田の方から廻ると聞いて居りましたから、一時期東京の方角が分らなくなつた思いをしたことを見えて居ります。中学を卒業して東京の学校へ進むことになつた頃は、秋田発上野行の列車があり、鶴岡を夕方の5時半頃乗車、上野には翌朝六時頃に着いたように思われます。約十二時間半を要したわけです。本数が少く中々込んで居りまして、或時など窓を開けて貰い窓がら車内に入れて貰つたこともあります。身体の小さく有利性を發揮したわけです。

降雪時になりますと列車の遅れは毎度のことでした。雪の量も最近よりはずっと多かつたような気がします。特に清水トンネルの近くでは雪の壁の間を通る形で、列車の窓から手を出して雪をとつたことを覚えて居ります。正月に帰郷の為の乗車券を手に入れることも大変でした。予約券が必要でその予約券を手に入れる為、数日前に上野駅で長蛇の列に並んだことも忘れられません。今は新幹線新潟乗換え乍ら約の丁度半分の所要時間で、本当に楽になつたものです。

処がこんどは飛行機の時代となり所要時間一時間弱ということですから、昔正に「近くなつた庄内」ということであります。ただ私のように多摩地

祝 第22回 東京鶴翔同窓会

タイスイハイブ
異形押出成型品
ペレット 製造・販売

大水産業株式会社

取締役社長 佐藤一郎 (46回)

本社 〒336 浦和市大間木1743
浦和工場 電話 (0488) 8121 (代)
八郷工場 茨城県新治郡八郷町加生野564-4
電話 (八郷) 02994(2)3124 (代)

[精密理化学機器製造]
自動省力機設計製造

株式会社 サンテック

山形工場 山形県鶴岡市宝田3-6-1
〒997 TEL (0235) 23-0377
FAX (0235) 23-0460

株式会社 指田製作所

本社・工場 東京都青梅市今井3-4-20
〒198 TEL (0428) 31-8811 (代)
FAX (0428) 31-3488 代表取締役社長 指田重治郎
(昭和42年・第74回卒)

看板・ネオン・シルクスクリーン
コンピュータカッティング/デザイン/企画/設計/施工

有限会社 昭和堂

代表取締役 菅原浩平 (64回卒)

〒997 鶴岡市本町2-4-8
TEL (0235) 22-0525
(0235) 24-5236
FAX (0235) 22-0605

本と文具 **エビスヤ書店**

鶴岡市本町1-7-46
TEL 0235(24)1500
FAX 0235(24)3124

小池繁治 (54回卒)

祝 第22回 東京鶴翔同窓会

なぜかの虫の会 (64回生一同)

今年は卒業35周年です。11月14日(土)にちょっと変わったことやりますので注目。

64回	54回	44回	42回	41回	40回	39回	38回	37回	36回	35回	34回	33回	32回	31回	30回	29回	28回	27回	26回	25回	24回	23回	22回	21回	20回	19回	18回	17回	16回	15回	14回
● 年次幹事 幹事	▲ 年次幹事 幹事	● 常任幹事 幹事																													

第22回 東京鶴翔同窓会

事務局 〒101 千代田区内神田二丁目16-9
TEL (03) 3256-1891
FAX (03) 3256-1891
庄内銀行東京支店 富権 孝

42回	41回	40回	39回	38回	37回	36回	35回	34回	33回	32回	31回	30回	29回	28回	27回	26回	25回	24回	23回	22回	21回	20回	19回	18回	17回	16回	15回	14回
● 会長 田中 浩	● 副会長(兼任幹事) 阿宗保治郎	● 常任幹事兼事務局長 佐藤信雄	● 常任幹事 田中村文子	● 常任幹事 佐藤次郎	● 常任幹事 加藤幸哉	● 常任幹事 田中喜雄	● 常任幹事 佐藤勇輔	● 常任幹事 伊藤正輔	● 常任幹事 佐藤喜雄	● 常任幹事 佐藤富雄	● 常任幹事 佐藤吉川	● 常任幹事 佐藤吉田	● 常任幹事 佐藤喜明	● 常任幹事 佐藤喜洋	● 常任幹事 佐藤喜也	● 常任幹事 佐藤喜志	● 常任幹事 佐藤喜政	● 常任幹事 佐藤喜之	● 常任幹事 佐藤喜義	● 常任幹事 佐藤喜治	● 常任幹事 佐藤喜代							

東京鶴翔同窓会幹事名簿

過目、「鶴翔同窓会だより」第32号訃報欄に記載の38回卒の大田好氏は御健在です。ここに訂正し、益々の御活躍を祈ります。

はその三倍以上もいたであろう
か。空港ビル内も送迎デッキも
超満員であった。二階から三階
へのエスカレーターの途中で、
七十才ぐらいの老夫婦の話し声
が、喧噪の中から私の耳にあざ
やかにとびこんできた。

じい「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「んだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

大宝館〈郷土の文化に関する人物資料館〉

しごだん」といつていたような
気がする。降りつんだ雪がふみ
かためられて凍りつき、ピカピ
カに光る“キンカつく”道の両
端のやわらかい雪“ホトワラ”
などは今や死語に近い。雪も少
なくなり、機械による除雪が普
及した今では、生活の中から消
えうせるのも当然であろう。し
かし“ヤバチツ”テロテロで
(凍結しピカピカ、ツルツルの
こと)など、共通語に置換でき
ない、その土地ならではの豊か
な表現が、思わず人々の口をつ
いて出てくることも事実である。
かくのごとく、方言はその土地
でなければ決して生れることの
なかつたものであるから、人々
の生活や文化が厳として存在す
るかぎり、方言の生命は不滅だ
といえるのかもしれない。皆さ
んの血の中には、いまなお鶴岡
の方言が、それを生んだ庄内の
くらしが脈々と息づいているこ
とであろう。

四季それぞれに変化する庄内
の空から、今日もジェット機の
爆音が聞える。誰かが、何かが
行きかい情報が発信・受信され
ているのだ。「近くなった庄内そ
して近くなった東京」便利さ

★近くなった庄内!!

(久しく会ってない友へ…)

お元気ですか★

と時間の短縮だけにとどめず、
人の交流を一層活発にし、そこ
から真のコミュニケーションを

生むための「空の道」にしなけ
ればなるまい。真の情報は、マ
スメディアが一方的に送りこん

でくるもの、コンピューターの端
の中にこそ正しく伝えられ生か
されるものであろう。庄内の自

然、風習、食べもの、ゆつたり
とした人の心!すべてが「好
ましちや好ましちや」と云いた

くなる面が、今なお色濃く残さ
れていることを、私は鶴岡発“血
の通う情報”として伝えたい。

羽越線で
帰りたい私



笹原
(60回卒)
徹

連れられて、兄と一緒に、列車
で日本海沿いに北上し、十数時
間かけて、帰郷するのを常とし
ていました。

夏休みいっぱい同じ年頃の従
兄弟達と海に山に遊び、季節の
物をたらふく食べ、健康そのもの

の生活を送りました。食べ物
がおいしく、楽しい所、しかし
極めて遠い所というのが私の子

供の時の鶴岡のイメージです。
その後小学校三年の二学期か
ら中学校二年の一学期までを仙

台で過ごしました。長期間の休
みの時には、京都時代に比べる
と時間はかからなくなつたにし
ても、列車で何回か乗換をして
苦労して鶴岡に帰っていました。

戦争中の物のない厳しい時代で
ありましたが、鶴岡は豊かでした。

そして思いもよらなかつたこ
とに戦後、中学校一年の二学期
から大学卒業までを鶴岡に住む
事になりました。自然や、よき
先生、よき友人、おいしい食物

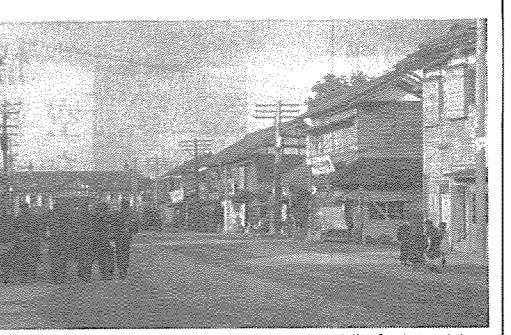
に恵まれ、精神形成、身体の成
長にとって大事な時期を鶴岡で
過ごせたことを人生の幸福であ
つたと感謝し、鶴岡こそ、私に

とつて日本一のふるさとだと當
然になりました。夏休みには祖
母のいる父の郷里鶴岡へ、父に

本社/〒997 山形県鶴岡市馬場町8-29 TEL 0235(22)1480代
酒田支社/〒998 山形県酒田市中町1-14-14 TEL 0234(22)4244代
東京支局/〒272 千葉県市川市大野町1-383-10 TEL 0473(37)6568

私は京都で生まれ、幼稚園と
小学校三年の一学期までをそこ
で過ごしました。夏休みには祖
母のいる父の郷里鶴岡へ、父に

とつて日本一のふるさとだと當
然になりました。夏休みには祖
母のいる父の郷里鶴岡へ、父に



鶴岡駅前大通り(橋本政之氏(82回卒)所蔵ポストカード)

連れられて、兄と一緒に、列車
で日本海沿いに北上し、十数時
間かけて、帰郷するのを常とし
ていました。

しごだん」といつていたような
気がする。降りつんだ雪がふみ
かためられて凍りつき、ピカピ
カに光る“キンカつく”道の両
端のやわらかい雪“ホトワラ”
などは今や死語に近い。雪も少
なくなり、機械による除雪が普
及した今では、生活の中から消
えうせるのも当然であろう。し
かし“ヤバチツ”テロテロで
(凍結しピカピカ、ツルツルの
こと)など、共通語に置換でき
ない、その土地ならではの豊か
な表現が、思わず人々の口をつ
いて出てくることも事実である。
かくのごとく、方言はその土地
でなければ決して生れることの
なかつたものであるから、人々
の生活や文化が厳として存在す
るかぎり、方言の生命は不滅だ
といえるのかもしれない。皆さ
んの血の中には、いまなお鶴岡
の方言が、それを生んだ庄内の
くらしが脈々と息づいているこ
とであろう。

四季それぞれに変化する庄内
の空から、今日もジェット機の
爆音が聞える。誰かが、何かが
行きかい情報が発信・受信され
ているのだ。「近くなった庄内そ
して近くなった東京」便利さ

はその三倍以上もいたであろう
か。空港ビル内も送迎デッキも
超満員であった。二階から三階
へのエスカレーターの途中で、
七十才ぐらいの老夫婦の話し声
が、喧噪の中から私の耳にあざ
やかにとびこんできた。

じい「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「んだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

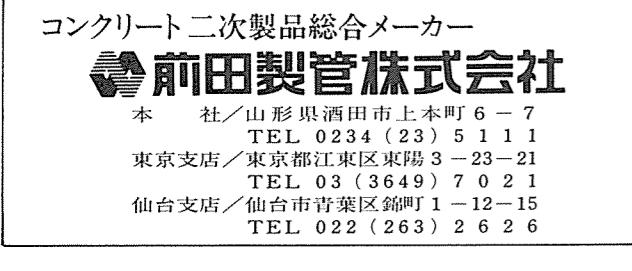
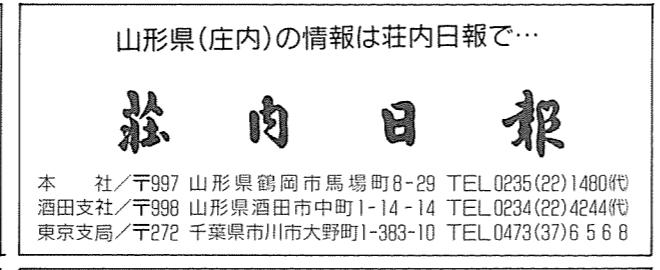
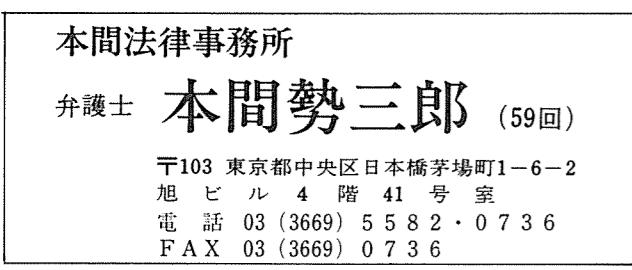
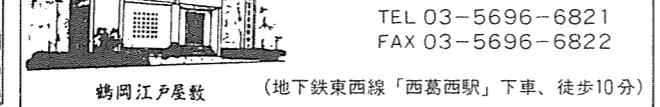
じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般

家庭でも、二階への階段を「は

じじ「あれっ、こげだ動く梯
子だんさのつたな、生れてはづ
めでだ……」

ばば「なんだが……」
“動く梯子だん”正にそのもの
ズバリ、何というたくみな表現
であろうか。これが動く階段で
はとんと面白味がない。考えて
みると、四十年前までは一般



★近くなつた庄内!!

新幹線が新潟まで伸びたときは、庄内が随分と近くなつたものだと思いましたが、庄内空港が開港されて、鶴岡が一層手の届く距離にあることを実感して

**味わい分ける
庄内への旅**

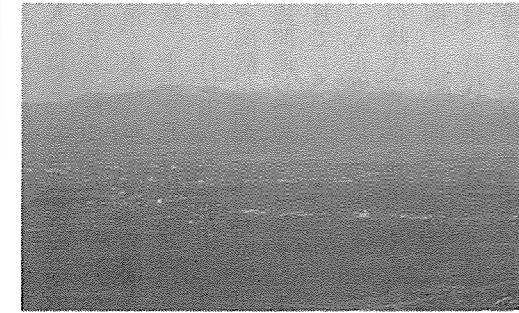


鳥海元晴
(64回卒)

夜汽車に乗るわくわくした気持、蒸氣機関車の長く尾をひく黒いけむり、トンネルや鉄橋に入った時の煙のにおいと抜け出たときの煤だらけな顔、線路つなぎ目が生み出す子守歌、列車内のむすびの味や、駅弁の楽しみ、方言による他人との親近感、窓から入る潮の香り、みどり豊かな庄内平野から眺める鳥海山の雄姿等等、文字にしながら懐かしさですが、かつて庄内への旅はこれが全てであつたわけです。昨今では、高速道路や一般道が整備され、乗用車や高速バスで帰郷することも可能で、選択範囲のひろがりに感慨も一入です。

私は未だ飛行機を利用しないで、航空機の便により、人の交流が盛んになりますと、郷里に寄せる思いが加速され、友との語らいの回数も増えて、庄内の酒

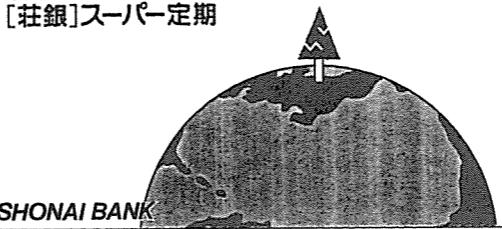
落ちつきが失われて来ました。季節の変化を楽しむ風流さも無くなってしまった。昔を感じさせるよがが無くなつてきました。昔を感じる何かがあると、そこに昔の故郷を思い出します。羽越線の車窓から眺める日本海の荒波、海岸線の美しい景色、麗しい山河、緑豊かな庄内平野を見ながら、大山駅を通つて胸をわくわくさせて鶴岡駅に着くのが私はすきです。小学校時代の夏休み、大学時代の幾度もの帰省を思い出すためか、如何に時間が掛かるとも、私は羽越線で鶴岡に帰りたいのです。



月山の山裾に広がる鶴岡市街

祝 第22回 東京鶴翔同窓会

寒河江法律事務所

弁護士 寒河江孝允 (70回生)
(S38年卒)〒100 東京都千代田区霞が関3-7-2 UBEビル5階
電話 03-3502-0882あなたに一番近い自由金利型定期預金
〔庄銀〕スーパー定期

大澤税務・会計事務所

税理士 大澤榮造 (昭和17年・50回卒)

事務所 〒171 東京都豊島区南池袋2-8-18コープ高砂602号
電話(03)3989-0526㈹ FAX(03)3989-0570
自宅 〒179 東京都練馬区平和台1-31-14
電話(03)3937-1208

加藤法律事務所

弁護士 加藤次郎 (62回)

〒160 東京都新宿区左門町6番地10号 渋谷ビル3階
電話 03(3359)9378~9
FAX 03(3359)9160

株式会社 カクショウ

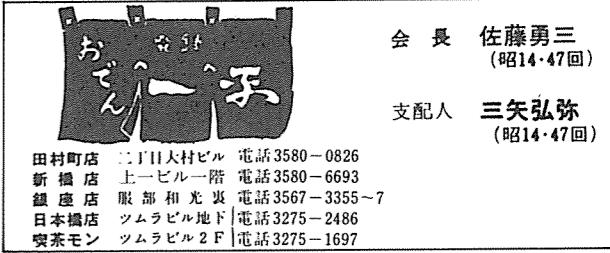
代表取締役 水口武二 (66回卒)

本社 〒142 東京都品川区旗の台2丁目7番10号
TEL 03(5498)0731
小山工場 〒323 栃木県小山市塙崎281-5
TEL 0285(28)0451

高級美術・ビジネスフォーム・プリペイドカード印刷

栗駒印刷株式会社

代表取締役 中山源哉

〒102 東京都千代田区麹町3丁目1番地
電話 東京(03)3265-6291(代表)

写真撮影と複写・復元の店

株式会社 五十嵐写真店

取締役会長 大井 康雄 (36回)

〒100 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル
TEL (3211) 1548

株式会社 一芳タイプ

代表取締役 長谷川 勝一 (59回)

東京都新宿区筑土八幡町4-24 (〒162)
TEL 03-3235-2691
FAX 03-3235-9365

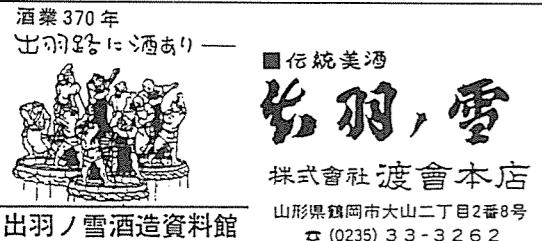
53回 52回 51回 50回 49回 48回 47回 45回 44回 43回
成田空港 渋谷駅 渋谷通り 大阪駅 大阪市内 岩槻駅 芦原駅 真中駅 佐野駅 佐藤駅 佐藤駅 佐藤駅 佐藤駅 佐藤駅 佐藤駅 佐藤駅
新橋駅 横浜駅 横浜通り 小田急線 菅原駅 朝日駅
銀座駅 御茶ノ水駅 御茶ノ水通り 東横線 新宿駅 新宿駅 池袋駅 神楽坂駅 御茶ノ水駅 御茶ノ水駅 御茶ノ水駅 御茶ノ水駅 御茶ノ水駅
日本橋駅 銀座駅 銀座通り 芦原駅 静岡駅 静岡駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅 伊豆箱根駅
宇都宮駅 大曲駅
佐賀駅 筑後守山駅 宇都宮駅 佐賀駅
熊本駅 佐賀駅
福岡駅 大分駅 大分駅 佐賀駅
佐藤八郎 佐藤常一郎 佐藤廣弥 佐藤信繁 佐藤信雄 佐藤正雄 佐藤良賢 佐藤隆正 佐藤昇 佐藤義夫 佐藤春秀 佐藤勇重 佐藤清三郎 佐藤弘二郎 佐藤信吉
辰巳吉孝 嘉謙昌 岩泰彦 健昌美 定四正 仲秀泰 春秀 勇重 幸一郎 春秀 勇重 幸一郎 春吉
郎吉 吉造 一夫 雄 善彦 隆正 美昇 雄 雄 繁雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄
辰巳吉孝 嘉謙昌 岩泰彦 健昌美 定四正 仲秀泰 春秀 勇重 幸一郎 春吉
郎吉 吉造 一夫 雄 善彦 隆正 美昇 雄 雄 繁雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄 雄

祝 第22回 東京鶴翔同窓会

孟宗と神楽の里
山頭火の宿 庄内が近くなりました

(日観連) ホテルみやご

鶴岡市湯田川温泉
TEL 0235(35)2666
FAX 0235(35)3710



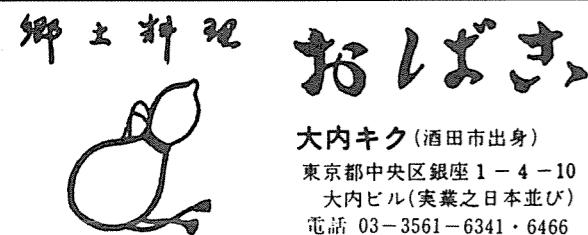
旅のすべてにお応えいたします。

FAS 美誉航空サービス株式会社

営業企画部長 榎本克弘 (64回卒)
〒103 東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビル
TEL 03(3274)2971
FAX 03(3274)2216

商船三井興産株式会社
代表取締役
社長 尾形昌夫

本社 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目2番20号(第19森ビル)
TEL { (3502) 2907 (直通)
(3502) 3231 (代表)



ANA 全日空

全日空で
みちのく再発見
一大自然と素朴な口ermanを求めてー

43回 42回 41回 40回 39回 38回 36回 35回 33回 28回
水野 五田 佐藤 伊藤 佐藤 伊藤 高橋 岩崎 板垣 齊藤 渡辺 成澤 石原 大井 海老名 中海 山口 伊藤
重忠 浩毅 郎宗 敬季 道義 作正 茂三郎 正三 寿津 康雄 五郎 敬重 重士 安二

先進技術から生まれる信頼 **YOROZU**

自動車用サスペンション・システムの開発と製造
金型・各種自動機器設計製作
各種情報処理サービス事業

株式会社 ヨロズ 株式会社 庄内ヨロズ

本社 〒222 横浜市港北区博町3-7-60 〒997 山形県鶴岡市宝田三丁目7-30
TEL (045) 543-6800㈹ TEL (0235) 24-1111㈹

取締役社長 三浦 昭 (昭和21年)

卒業生 両社合計15名

長谷川久一税理士事務所
税理士 長谷川 久一 (54回卒)

事務所 東京都江東区亀戸1-39-1-607
〒136 TEL (03) 3684-6001
FAX (03) 3684-8200
自宅 東京都江戸川区東小岩5-15-5
〒133 TEL (03) 3657-7644

社団 法人 日本海運俱楽部

常務理事 佐藤 正英 (54回卒)

〒102 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル
電話 (03) 3264-1825

祝 第22回 鶴翔同窓会
田中更士 (54回卒)
大滝俊介 (54回卒)

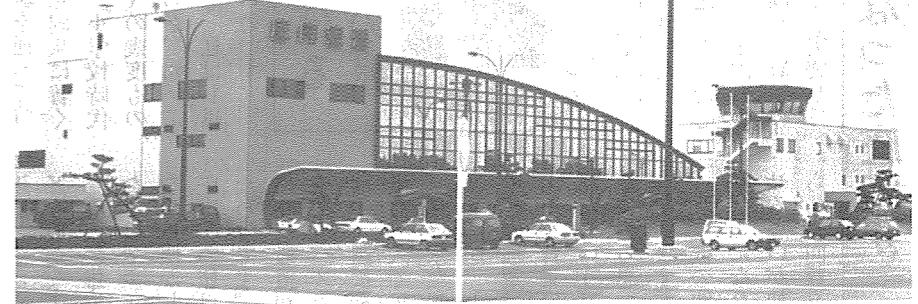
全日空 国内線予約・案内センター			
東京 TOKYO	[03] 5489-8800	06:30~21:00	
ビジネスダイヤル	当日便・翌日便・翌々日便のみのご予約専用電話		
[03] 5489-8877	06:30~21:00		
酒田 SAKATA	[0234] 24-8010	08:30~18:00	
鶴岡 TSURUOKA	[0235] 25-8010	08:30~18:00	
山形 YAMAGATA	[0236] 32-0702	08:30~18:00	

来賓 第21回
出席者 鶴翔同窓会

"近くなった庄内!!"

庄内と東京

往来 今昔



明治中頃までは、酒井藩の参勤交替の旅程が示すように、清川口まで徒歩でゆき、最上川を舟で遙り、羽州街道を南下して江戸まで十二日～十六日ほど要したよう、庄内と東京(江戸)は変な遠さでした。明治三十六年、奥羽本線が新庄まで開通する、上京者はト、馬車で清川まで行き、最上川を本合海まで舟運を利用し汽車に乗った。大正三年には陸羽西線が酒田まで開通したが、鶴岡の玄関口はまだ清川でした。羽越線の建設は明治四十五年から着工されたが、思うようにはかどらず、大正七年になつてが開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を感じます。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

「山河の姿うるわしく……」鶴岡南高校の校歌で唱う庄内は、いつでも心が還れる故郷です。その故郷に、昨年十月庄内空港(二千m滑走路の第3種空港)が開港し、わずか一時間で行き来することができるようになり、まさに「近くなった庄内」を実感します。

平均搭乗率(%)		
	東京便	大阪便
平成3年10月	92.9	73.8
11月	93.0	68.9
12月	80.9	36.0
平成4年1月	80.8	38.3
2月	82.6	81.9

第22回 東京鶴翔同窓会出席者名簿

(敬省略・順不同)

《ご来賓》

鶴翔同窓会	会長	酒井忠明	東京亀城会(酒田東)
鶴翔同窓会	事務局長	五十嵐文夫	常任理事事務局長 阿部瑛一
県立鶴岡南高等学校 教頭	佐々木幹男	常任理事事務局次長 堀修二	
鶴岡市市長代理 東京事務所長	加藤瑞夫	常任理事 丸藤晋	
如松同窓会(鶴北) 東京支部			酒田商業 東京同窓会
副支部長	関口敦子	会長 伊藤陽吉	
常任幹事	高橋糸	事務局長 米山昌士	
常任幹事	小出通子	支部長 菅原勝子	如蘭同窓会(家政) 関東支部
城畔同窓会(鶴工) 関東支部		事務局 田巻和子	
関東総支部長	三田村欣信	莊内館 専務理事 大川龍太郎	
川崎支部長	遠藤重三	莊内日報 東京支局長 青柳恵一	

回卒	氏名	回卒	氏名	回卒	氏名	回卒	氏名
28回	伊藤安二	43回	五十嵐忠	50回	小沼博	53回	叶野七郎
33回	海老名敬士		富樫常夫		斎藤弘義		齊藤吉郎
	遠藤匡輔		水野重広		真田秀春		旅河伸介
	中川重男		三井広弥		菅原藤夫		成田辰美
	廣瀬定治	44回	鈴木弘二	51回	斎藤正		菱谷岩雄
34回	石井直治郎	45回	坂本春吉		旅河正美		平野成士
35回	広木護郎		林信雄		中村信雄		別所是人
36回	海老名五郎	46回	石川義吉		渡部士郎		山本昌美
37回	佐藤茂吉	47回	佐藤安男	52回	上野識	54回	阿部久吾
38回	成沢寿		鈴木重臣		尾形修三		板垣茂雄
39回	渡会正三		平田秀雄		佐藤昭一		柏木義一
40回	板垣正作	48回	後藤俊夫		菅原隆輔		櫻井守雄
41回	野崎秀義		田中武次郎		土岐良次		佐藤正英
	山本甚作		宮崎富哉		中村賢衛		佐藤英二
42回	伊藤啓五郎		宮村巖		堀井四郎		佐藤良三
	佐藤忠一		渡会春雄		松村謙二		富樫泰教
	佐藤毅	49回	尾形一郎		三矢正且		
	田中浩		桜田幸一				中里欣一
43回	阿宗保治郎	50回	大澤榮造	53回	五十嵐藤一		長谷川孝次
					尾形昌夫		中田亨

回卒	氏名	回卒	氏名	回卒	氏名	回卒	氏名
54回	長谷川久一	61回	山中昊吉	64回	八代和子	70回	中村浩
	松村正	62回	五十嵐隆二		真嶋美弥		山口秀隆
	宮田五郎左工門		池田惇二		三浦計治	71回	横川則一
	渡部敏雄		奥田文夫		水口脩嗣	72回	五十嵐喜治
55回	笛原恒也		加藤次郎		宮崎直勝		石黒清一
55・56回	植木清哉		岸田光祐		森弘		半沢健雄
	伊関孝		佐藤新市		渡部賢一	73回	長谷川和男
	和田晶		高橋進	65回	阿部文治		平山静夫
57回	斎藤克茂		三浦五八		飯田楨子		丸屋好久
	重山英明		63回	五十嵐信		板倉利宏	渡辺紘規
	菅原良雄					大沼宏	渡部逸郎
	鈴木雄三					加藤有紘	青島時子
	細井地久					齋藤正幸	齊藤邦男
	松本孝敏					澤井俊弥	坂本誠
	丸谷錦吾					宮崎忠	指田重治郎
58回	佐藤四郎					渡部明	佐藤憲
	匹田誠					佐藤千久郎	鈴木充
	本間章介					佐藤隆介	鈴木伸夫
	渡部瑞夫					本間文祐	若木茂
59回	佐藤大	64回	青木常子	66回	田村淳子	75回	鈴木新也
	中村順一				外池連子		若木正孝
	長谷川勝一				平田宏		80回 榎本正士
	本間勢三郎				渡部克弘		三矢武士
	松本直明				工藤国捷		95回 桜井千明
60回	菊地俊哉				小花吉彦		97回 畠山望
	小杉信				寺嶋成晃		98回 井上栄輝
	白幡義博				内藤範子		99回 梅木恵介
	野澤良治				浅井史雄		
	61回	菊地晴子			佐藤賢一		
	佐藤正吾				冠木敦子		
	相馬和彦				小池誠		
	鳥海秀介				斎藤守		
	長谷川千恵子				保科正彦		
	長谷川佳則				渡部洋		
	村上官子				69回 工藤雅子		
					70回 太田司郎		
					寒河江孝允		